

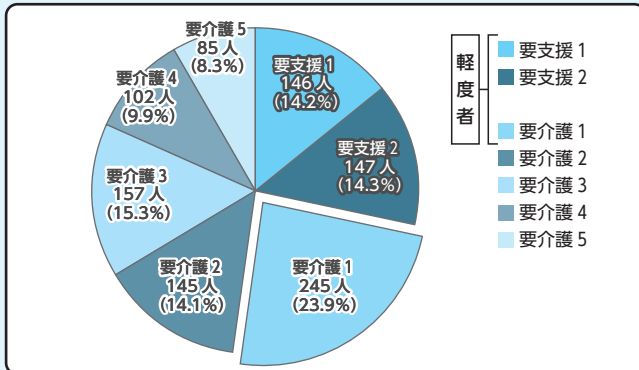
介護のいまを知らう②

～ 高齢者を取り巻く現状を知る～

2 回目は、多久市の要介護認定の状況や介護を受けながら生活する場所をお知らせします。

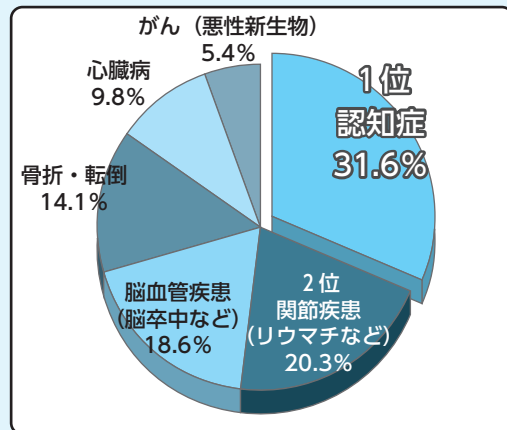
【介護度別の介護給付受給者数】

高齢者数	認定者数	認定率	受給(利用)実人数	受給率
6,560人	1,282人	19.5%	1,027人	80.1%



【介護が必要になった

(要介護認定を受けた) 主な原因]



◆要介護認定の結果は、要支援1から要介護1までの軽度の人半数を占めています。

要介護認定が軽度の方は、市の健康づくり事業や自分の健康状態を維持するためのサービスを利用されています。

◆要介護認定が必要になった病気は、生活習慣病の重症化が多くを占めています。

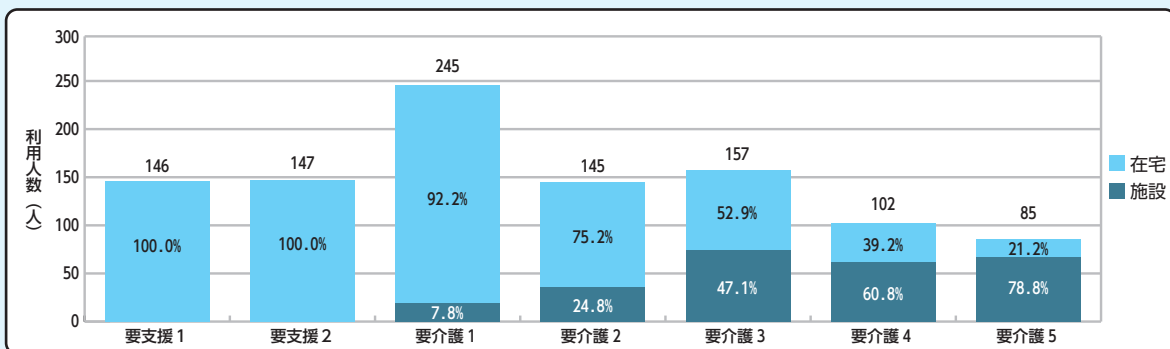
第1位の認知症：毎日の生活や糖尿病や高血圧の治療状況とも関連します。

3食たべて、きちんと薬をのみ、治療を続けることが秘訣です。

第2位の関節疾患：運動機能低下もかかわっています。毎日身体を動かす体操やウォーキングも効果があります。

第3位の脳血管疾患（脳卒中）：**血圧のコントロールや減塩での食事**で重症化を予防できます。

【要介護度別の施設・在宅利用者の割合】



◆要介護認定が重度の方は、施設利用が増えますが、軽度の方は自宅で暮らされています。介護が必要になっても、できる限り住み慣れた家庭や地域でいかに自分らしく、安心して暮らせるようにするのが大きな課題です。

◆自宅に閉じこもらずに、歩いてでも行ける身近な地域で、介護予防ができる通いの場が必要です。

(23ページに紹介)